

積雪地方の住民の雪に対する意識調査

富山県立大学短期大学部 石本 友子 富山県立大学短期大学部 金森 弥生
富山県立大学短期大学部 正会員 能登 勇二 富山県立大学短期大学部 正会員 奥川 光治

1. はじめに 最近、地球温暖化の影響などで豪雪地方とされる富山県内でも積雪量が減っている。しかし、積雪地方では冬の降雪、積雪により生活にはいろいろな障害が生ずる。そのような障害を取り除いて、生活環境をより快適なものとするためには、まず日頃住民が雪に対してどのような思いを抱いているかを知る必要がある。本研究ではそれらを探るために富山県内平野部の住民を対象にアンケート調査を行った。

2. 調査方法 調査は富山市、射水郡の住民を対象に行った。調査対象住民の年齢層とサンプル数は表1に示す通りである。

- アンケート内容は、
- ①基礎データ ②季節
 - ③親雪 ④雪の印象
 - ⑤積雪時の生活 ⑥富山の冬に何が必要か
 - ⑦積雪地方に住みたいか
 - ⑧雪の必要不必要とその理由
 - ⑨積雪量の減少について
 - ⑩雪に対するイメージ

等の項目で、子供用と大人用とにわけ全部で 20~23 項目の選択形式あるいは自由記述形式の設問とした。また、調査期間は、2001 年の 7 月から 11 月である。

3. 調査結果と考察

(1)雪への愛着：[雪の好き嫌い] に関する設問の結果は図1に示す。雪を「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせて全体の 74 %だった。残りの 26 %は「嫌い」と「どちらかといえば嫌い」という回答だった。

雪を「嫌い」と回答した 20 歳以上の全回答者に対する雪を嫌いになった年齢に関する設問の結果を図2に示す。中学生から 18 歳にかけて雪を嫌いになる回答者が多くなっている。また、嫌いになるきっかけとしては、「寒くて煩わしい」「野外に出るのが億劫だ」という回答が多く、18 歳くらいの時に嫌いになる理由としては「車・バイクの運転をし始めてから」という回答が多かった。

(2)雪の必要性：[雪の必要・不必要] に関する設

表1 年齢別対象者数

年齢(歳)	回答者数(人)	年齢(歳)	回答者数(人)
10	40	21	36
11	75	21~24	28
12	73	25~29	68
13	65	30~34	28
14	79	35~39	26
15	33	40~44	25
16	31	45~49	31
17	36	50~54	20
18	74	55~59	6
19	64	60~	6
20	37	計	882

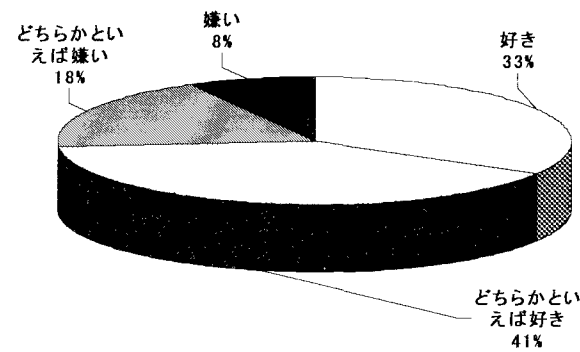


図1 雪の好き嫌い

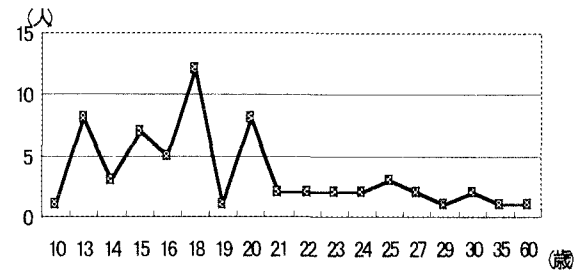


図2 雪を嫌いになった年齢(20才以上対象)

問の結果は、雪を必要と回答者は全体で 82.3(%)、不必要と回答者は 17.7 % で大多数が雪を必要と考えていることが明らかになった。

雪を必要とする理由を『利雪』・『親雪』・『環境』の3つに、不必要とする理由を『季節体感』・『生活阻害』・『交通』・『災害』の四つに区分し、結果をそれぞれ図3，図4に示す。その内容については表2に示す。

雪を必要とする理由としては『親雪』という回答が最も多く、不必要とする理由としては『生活阻害』・『交通』という回答が多くあった。

(3) 積雪時の生活：積雪時の生活に関する設問のうち、[消雪装置についてどう思っているか]の結果を図5に示す。「便利だからもっと増やして欲しい」(48%)、「現状で十分である」(11%)、「管理が不十分」(24%)が主な回答だった。このように積雪時の生活に関する設問については移動に便利な施設や手段の充実を望む回答が多かった。

(4) 積雪地方に住みたいか：[積雪地方に住みたいか]に関する設問の結果は図6に示す。85%は少なくとも積雪地方に住みたいという回答だった。一方、富山より積雪の少ない地方に住みたい、積雪のない地方に住みたいを合わせると45%を超え、現在の積雪量は生活にまだ障害があることを示していると考えられる。

4. まとめ 雪に対する富山県の住民の意識調査を行った結果、次のようなことが明らかとなった。

- 1) 雪を好きな人と必要と考えている人が大多数である。一方、10代の中頃から後半に雪を嫌になる傾向がみられる。
 - 2) 雪を必要とする理由は『親雪』、不必要とする理由は『生活阻害』・『交通』という回答が多い。
 - 3) 冬の生活には移動手段等の充実が重要である。
 - 4) 積雪地方に住みたい人が大多数である。一方、富山より積雪の少ない地方に住みたい人も多い。
- 以上の結果が得られたが、現在、調査対象より広くして調査を継続している。

参考文献

- 1) 辻 新六、有馬 昌宏：アンケート調査の方法、朝倉書店、1987
- 2) 富山県：富山県雪総合計画、2001

表2 雪の必要・不必要の理由

必要	利雪	・水資源として必要だから ・農業のため ・観光産業のため
	親雪	・季節感がある ・嬉しくなる ・雪遊び、ウィンタースポーツができる
	環境	・自然は大切 ・地球温暖化が心配 ・雪は空気を清浄にしてくれるから
	季節体感	・寒い、冷たい
不必要	生活阻害	・邪魔 ・除雪が面倒 ・生活上不便
	交通	・移動、外出が不便 ・公共交通機関が ・車の運転が怖い ・事故が多発する
	災害	・雪崩などの災害が起こる

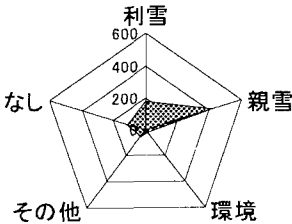


図3 必要の理由 (数字は人数)

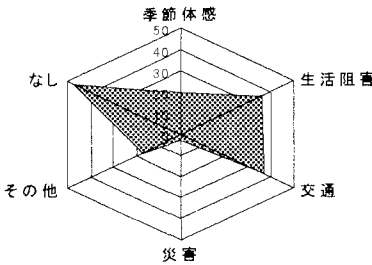


図4 不必要の理由 (数字は人数)

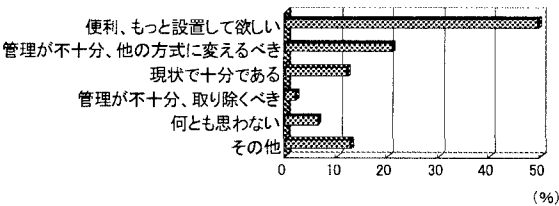


図5 消雪装置についてどう思っているか

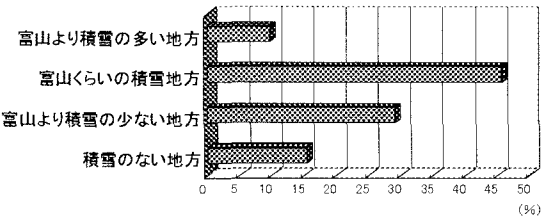


図6 積雪地方に住みたいか